

**大学発新産業創出プログラム 社会還元加速プログラム(SCORE) チーム推進型
事後評価結果**

研究開発課題名:	伸縮性をもつ摩擦帯電型発電シートの事業化可能性検証
研究担当者(所属・役職・氏名)	名古屋大学 未来材料・システム研究所 助教 松永 正広

1. SCORE での活動目的

摩擦帯電型発電は振動を電力に変換するエネルギーハーベスティング技術である。エネルギー源となる振動は周囲の至る所に存在し、その応用可能性は多岐にわたる。本研究開発課題は、担当者らが開発した透明でやわらかい摩擦帯電型発電シートに関する技術の事業化の可能性検証を行う。伸縮性や柔軟性といった本技術の特徴を活かしたソリューションを提案し、顧客ヒアリングなどを進めビジネスモデル仮説の検証を行い、現実化を目指す。

2. 総合所見

顧客候補を「見守りが必要な高齢者」から「スポーツのパデル設備のイルミネーションシート」に切り替えて、事業化の実現可能性を向上させた点を評価する。汎用性が高い技術であるため、継続的な用途開発を進め、事業化を実現することに期待する。

以上